



4月号 (No.1)

2026年4月8日

# 帝京大学小学校だより

帝京大学小学校

## 2026年度のスタート

帝京大学小学校 校長 石井卓之

41名の新入生を迎えて、新しい年度が始まります。本校を選んで入学された新1年生を、教職員一同、チーム帝京小として全力で支え、伸ばしていきます。

大学入試も大きく変わってきりおり、単なる知識ではなく、プレゼンテーション力やこれまで取り組んできた活動実績が評価されることが増えています。本校の特色ある取り組みである企業家教育や里山教育では、課題発見力を含めた課題解決力や責任感、チームビルディングの力も確実に伸びてきています。

帝京大学グループの教育理念である「自分流」を目指し、実学・国際性・開放性という教育方針のもと各教科を通して真の力を養いながら、それを活用して社会で役立つ実学としての力を育成していきます。また、グローバル化が進展する世界を舞台に、なりたい自分になれるためには英語を使いながらコミュニケーションできる力も必要となります。さらに、プログラミング的思考やICTを活用して様々な挑戦をすることも大切です。

キャリア教育イベントでお世話になっているゴールドウィン様から「ひらめき展」への参加を依頼され、子どもたちが図工の授業の中で「未来の服」のデザインに取り組みました。私も3月20日(金)に表参道の本社ビルで子どもたちの作品を見てきました。個人参加の幼児や小学校から高校など様々な校種の作品展示があり、考え方やデザイン力など気づきと発見が数多くありました。練馬区の公立学校では学級毎にテーマを決めて実際に服を制作していました。国立の高校では、一人一人が家庭科の授業で制作した服を出展していました。本校の作品もそうですが、企業の方が一つ一つに素敵なコメントを書いてくれました。



子どもたちが  
考えてくれた  
地球にやさしい  
未来の服

見と見通し... (Small text describing the exhibition and the children's work.)

## お願い

例年通り、本校の教育活動に賛同し、子どもたちの未来を切り拓く取り組みを行っている企業や大学、団体、NPO等とは、WIN-WINの関係で協働していきます。そのため、可能な限り企業や団体等のCSR活動にも協力したり、大学の調査研究にも参加したりしていきます。後日、お願いする授業場面の写真や子どもの作品(感想、イラスト、制作物)の掲載、アンケートへの協力等について趣旨をご理解の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。なお、提出する前には校長が全てを確認した上で、企業・団体には許諾をしていきます。